

母塾

2021・3・6



illustrated by Tsugumi

『 ママと一緒に、ただ考えたかっただけだよ 』 いのはなはるこ

あるお父さんの気づきを聞きました。
子どもと一緒に風呂に入った時に限って、質問ばかりするそうです。
「ねえ、どうして風呂の時にいろいろきくの？」と言うと、
「風呂だと、スマホがないから、お父さんと一緒に考えられるから。」
と答えたそうです。

さて年長組のロクが「あと幼稚園9回だって」と数えるようになりました。
とうとう6番目の子がこの幼稚園を卒園します。
毎日の自転車での送り迎えもあと9回です。
「ティラノサウルスってこのビルの何階くらい？」
「たき火の歌の4番うたってみて」
「蜘蛛の巣って白いの何でできてるの？」
と毎朝たわいもない質問がありました。
「んーん、たき火の3番はわかるけど」と歌った朝。
たった15分足らずの時間でしたが、ふたりきりの時間でした。
正解じゃなくても、よかったのでしょう。
連絡事項じゃなく、注意でなく、お説教でないただの会話。
「ママ、ただ一緒に考えたかっただけだよ。」の時間。

大きくなった5人の子どもはもう「ママ、考えよう」の時間はなくなります。
反対に今は23才の長女が仕事から帰るのを深夜に待ち構えています。
「ねえ、疲れてるところ悪いけど。聞いてよ。どう思う？」
こちらと一緒に考えてもらっています。
「ママと。ただ一緒に考えたかっただけ」はほんのわずかな時間なのです。

harukoinohana1717@gmail.com